



生徒の個性を生かし、やる気を引きだします！

秀英スクール

# 小学生英語

## 秀英スクール英語の5大ポイント

### ① 早くはじめる

小学校での英語本格開始間近!! 先取り英語でスタートダッシュ!!

### ② 楽しく学ぶ

みんなと一緒に楽しみながら英語が身に付く! おひとり様から入塾できます!

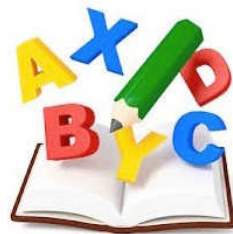
### ③ 検定級クラス

初心者歓迎! 能力別クラス編成なので、小学生ならどなたでも始められます!!



### ④ 先へつながる

英語は小学校だけで終わらない。中学、高校へ進学後も秀英スクールで英語が学べます!!



### ⑤ 英検取得でやる気UP!!

「実用英語技能検定」を取得して英語力を高めよう!!

秀英スクールでの小学生英語は、英語検定取得を目標とし、中学、高校進学後も役立つ英語教育をおこないます。英語検定級ごとのクラス編成なので、どなたでも自分の実力に合った英語授業が受けられます。

現在、新年度入塾生募集中!!

体験授業、割引制度あります!!

お申し込み、入塾説明などはこちらへ =>

TEL 049-271-1051 受付 pm1:00~5:00

秀英スクール 担当: 林

## ◎小学校学習 英語編

### 1 外国語教育に関して、～小学校での「英語」授業の本格的導入～

2016年の12月に文部科学省より小学校の英語教育・学習指導要領の改定について以下の内容が示されました。

小学校段階では、現在高学年において「聞くこと」「話すこと」を中心とした外国語活動を実施しているが、子どもたちの「読むこと」「書くこと」への知的欲求も高まっている状況にある。

すべての領域をバランスよく育む教科型の外国語教育を、高学年から導入する。その際、単なる中学校の前倒しではなく、なじみのある表現を使って、自分の好きなものや一日の生活などについて、友達に質問したり答えたりすることができるといった、発達段階にふさわしい力を育成する。高学年において現行の外国語活動(35単位時間)における「聞くこと」「話すこと」の活動に加え、「読むこと」「書くこと」を加えた領域を扱うためには、年間70単位時間程度の時間数が必要である。

中学年から「聞くこと」「話すこと」を中心とした外国語活動を行い、高学年の教科型の学習につなげていくこととし、そのためには年間35単位時間の時数が必要である。

国際的な英語の学習基準である「CEFR」(セファール ヨーロッパでの英語の学習基準)などを参考に、小・中・高等学校で一貫した「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やりとり)」「話すこと(発表)」「書くこと」の5つの領域別の目標を設定する。

(文科省 中央教育審議会 答申より引用)

#### □小学校英語の年間授業時間の増加

中学年(小3・小4):35時間 高学年(小5・小6):70時間

#### □主な学習内容の増加

中学年:「聞くこと」「話すこと」に重視した授業

高学年:「読むこと」「書くこと」

・アクティブラーニングの視点での授業、対話的な学びの数を増やしていく。

### 2 秀英スクールの取り組み

小学生には「実用英語技能検定」の取り組みを推奨しています。小学生のうちから、先取りで小学英語、中学英語の学習を行っています。英語の基本技能である「読むこと」「聞くこと」「書くこと」「話すこと」の4技能が2020年度からの大学入試でも必須のものとなってきます。次期学習指導要領の改定(2020年度を予定)に伴い、小学校・中学校・高校の各学校の英語教育が変わり始める前に、早めに学習を開始することが望まれています。

秀英スクールでは英語の授業を通して、英語検定を早くから受験させることで、英語の技能を養い、高校生では「TEAP」「TOEIC」といった最先端の英語技能試験を利用して大学受験に挑む生徒も出てきています。英語の学習は早めに実施することが今後主流となってきますので、是非ともお話しいただければ幸いです。